

# 目次

[概要](#)

[問題](#)

[一般的な設定](#)

[運用コンフィギュレーション](#)

[働かない設定](#)

[解決策](#)

## 概要

この資料はサービスの分類 ( CoS ) によって基づく入力 分類を使用するメトロイーサネット ( ME ) の既知の制限を 3400 スイッチ記述したものです。

## 問題

、 CoS 値に基づいて分類する入力 policy-map はトラフィックをが Differentiated Services Code Point ( DSCP ) 値関数に基づいて別のもの機能しません。

## 一般的な設定

## 運用コンフィギュレーション

## 働かない設定

## 解決策

トラフィックに関しては ME-3400 でルーティングされる、 CoS マークと一致する入力 policy-map は見つかりません。 グローバル ルーティング テーブルによっておよびバーチャルルーティングおよびフォワーディング両方 ( VRF ) ルーティングされるトラフィックを表示することは可能性のあるです。 ただし、 L2 スイッチドトラフィックのために、この policy-map は適切に機能します。

policy-map がスイッチ プラットフォームで適用されるとき、 Quality of Service ( QoS ) オペレーションが CPU に左右されないように Ternary Content Addressable Memory ( TCAM ) にプログラムする必要があります。 プログラミングは ME3400 の L2 と L3 TCAM の間で異なります。 match cos によって基づくクラスマップだけのポリシーマップに関しては、一致 DSCP のためにベース クラスは、 L3 TCAM プログラムされるが、 L2 TCAM はプログラムされません。

ルーテッドトラフィックに関しては、 L3 だけ TCAM 調べられます。 エントリは検出されないし

、すべてのトラフィックは unpoliced ように/無標行きます。ただし L2 スイッチドトラフィックのために、**match cos** ベース クラスに対してヒットという結果に終る L2 TCAM ルックアップは実行された。この動作は設計されているようにあります。